

～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画(案)

(良好な沿道景観形成のための街路樹等のあり方に関する計画)

～沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観形成を目指して～



令和4年7月
沖縄県

目 次

1. 「良好な沿道景観形成のための街路樹等のあり方計画」の目標 …………… P.1
 2. 事前説明における有識者委員からの主な意見 …………… P.4
 3. 県内における良好な沿道景観の事例 …………… P.6
 4. 委員、市町村、国、造園業者からの主な意見 …………… P.14
 5. SDGs、上位計画及び関連計画等 …………… P.25
 6. 沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい
良好な沿道景観形成の考え方 …………… P.32
 7. 管理区分の設定（重点管理路線、一般管理路線） …………… P.35
 8. 基本方針と行動計画（計画を具体化するためのシナリオ） …………… P.44
- (参考1)性能規定型道路除草管理について …………… P.52
- (参考2)地域やボランティア、企業等と連携した取組について…………… P.56
- (参考3)沖縄フラワークリエイション事業について …………… P.60
- (参考4)沖縄の造園業界の取組について …………… P.62

1. 「良好な沿道景観形成のための街路樹等のあり方計画」の目標

【目標】 沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観形成を目指す

※「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 基本施策1-(1)-ウ-③花と緑にあふれる環境づくり」関係

<目標の前提>

道路雑草の除去・・・“全ての路線で雑草が見られない（雑草の草丈が常に低い状態で管理されている）”

<目標のための行動>

道路植栽、剪定・・・“周辺環境に配慮した良好で自然の樹形を常に維持”

<目標のための取組>

ボランティアや企業等と連携した取組・・・“花と緑があふれる世界に誇れる沖縄らしい良好な空間の創出”

【良好な沿道景観形成のための街路樹等を検討するにあたっての基本方針の策定】

メリハリをつけた管理区分（「重点管理路線」及び「一般管理路線」）や
ゾーニングごとの緑化目標像の設定など

(1) 街路樹の現状と問題点

県管理道路延長約1,200km、高木本数約10万本

- ①台風等による倒木
- ②根による縁石・歩道の破損
- ③交通障害（見通し、建築限界の越境等）
- ④狭い歩道幅員での植栽
- ⑤背後地が山林箇所での植栽
- ⑥落葉・落果
- ⑦病害虫
- ⑧限られた予算での適切な管理が困難

(2) 課題

- ①いかに限られた予算で、効果的・効率的に維持管理を行うか
- ②いかに良好な沿道景観を持続できるか
- ③いかに実効性のある仕組みづくりができるか



沖縄県の沿道景観の現状①



高木の強剪定



高木撤去後に残された支柱



高木撤去後に残された根株



高木の根上りによる縁石のずれ、間隙からの雑草

沖縄県の沿道景観の現状②



点字ブロックを覆う雑草



低木が衰退し、雑草に覆われた植栽帯



低木が衰退し、雑草に覆われた植栽帯



間隙から繁茂した雑草

2. 事前説明における有識者委員からの主な意見（令和3年11月15～24日）

項目	概要
(1)全体	<ul style="list-style-type: none"> ①沖縄県は観光立県でもあるので、おもてなしの心が重要。 ②計画策定も重要だが、実効性を持たせることも大事である。 ③継続して良好な沿道景観となるようにしてもらいたい。持続的な取組みにするためにも、委員会を継続会議として事業に埋め込んで頂きたい。 ④県道以外の国道、市町村道とも連携し本業務の成果を波及させてもらいたい。 ⑤観光の面から、景観の質の向上が必要。道路、公園、広場等のリンク、全体的な統一性も重要。 ⑥以前に策定された緑化基本計画を見直す必要がある。 ⑦仙台市は緑化に係る審議会（杜の都の環境をつくる審議会）を設置している。また、造園担当職員が多く在籍している。
(2)世界水準の 良好な沿道景観	<ul style="list-style-type: none"> ①「世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観」というものが漠然としている。 ②沖縄の環境に合った緑化ができれば世界水準といえるものができるのでは。 ③悪い点だけでなく、<u>良好な沿道景観の事例を収集してはどうか。良好な沿道景観事例から見えてくるものがある。</u> ④<u>計画策定と並行して、成功事例（良好な沿道景観、世界水準）を増やすことも必要。</u> ⑤沖縄の特殊性を踏まえた独自のガイドラインを策定する必要があるのではないかと。 ⑥街路樹の統一美は、全てに当てはまるわけではない。ビスタ景観が適している場所はあるが、少し変化のある並木にした方がよい場所もある。 ⑦従来の工事発注による維持管理では、世界的水準の沿道景観にはならない。 ⑧地域の空間・景観デザイナーのような人材は必要ではないかと。
(3)街路樹の 植栽候補種	<ul style="list-style-type: none"> ①沿道環境に応じた樹種選定は必要。 ②沖縄に適した街路樹には何が一番いいのか？まだはっきりしない。 ③これまで植栽されてきた街路樹の種数は多いことから、沖縄の緑化主要木の絞り込みが必要。 ④樹種に対する考えは立場や専門分野によりそれぞれ異なることから、とりまとめるのは難しいかもしれない。

項目	概要
(4)街路樹の剪定	<p>①最近は、強剪定が多く、街路樹剪定士としての資格技能が生かされていないのではないか。</p> <p>②街路樹の樹形をどう維持するか、景観上良くない古い街路樹の更新をどう進めるか。</p>
(5)効率的・効果的管理	<p>①台風、雑草、害虫が大きな問題。これらの問題を踏まえた上で検討する必要がある。</p> <p>②高木本数が多いことから、メリハリのある街路樹配置を検討する必要がある。仙台市の街路樹もメリハリの管理がなされている。</p> <p>③状態の悪い街路樹は撤去・異種更新したほうが良いのではないかと。良い木を残すだけでも印象が良くなる。</p> <p><u>④重点的に管理する場所を先に整理しても良いのではないかと。</u></p> <p>⑤植栽柵の構造についても検討すべきである。ハワイは縁石がなく、連続的な緩やかな形状になっている（見た目がきれいで、雑草管理も容易となる）。</p> <p>⑥効率的管理にデジタル化は必要。また、i-treeという街路樹を含む樹木の生態系サービスの評価ツールがある。樹木の生態系サービスを数値化することで地域住民への啓蒙、政策決定、計画立案、費用対効果分析等への貢献が期待されている。</p>
(6)その他 (ボランティア、企業との連携等)	<p>①ボランティア認定されていない団体でも維持管理作業を担っており、その把握や掘り起こしもしてはどうか。</p> <p>②沖縄県が旗振りすれば、企業はついてくる。その際は、種子等の資材を支援するなどが必要。</p> <p>③国道332号では、企業の協力も取り付けている。また、海洋博記念公園前の道路は、本部町観光協会が美化活動を行っている。</p> <p>④道路ボランティアと道路維持管理業者の担当作業範囲について検討が必要。</p> <p>⑤ボランティア団体にも能力差があるが、ボランティアが除草機械（例えば、刈払機など）を使った作業までする必要があるのか。</p>

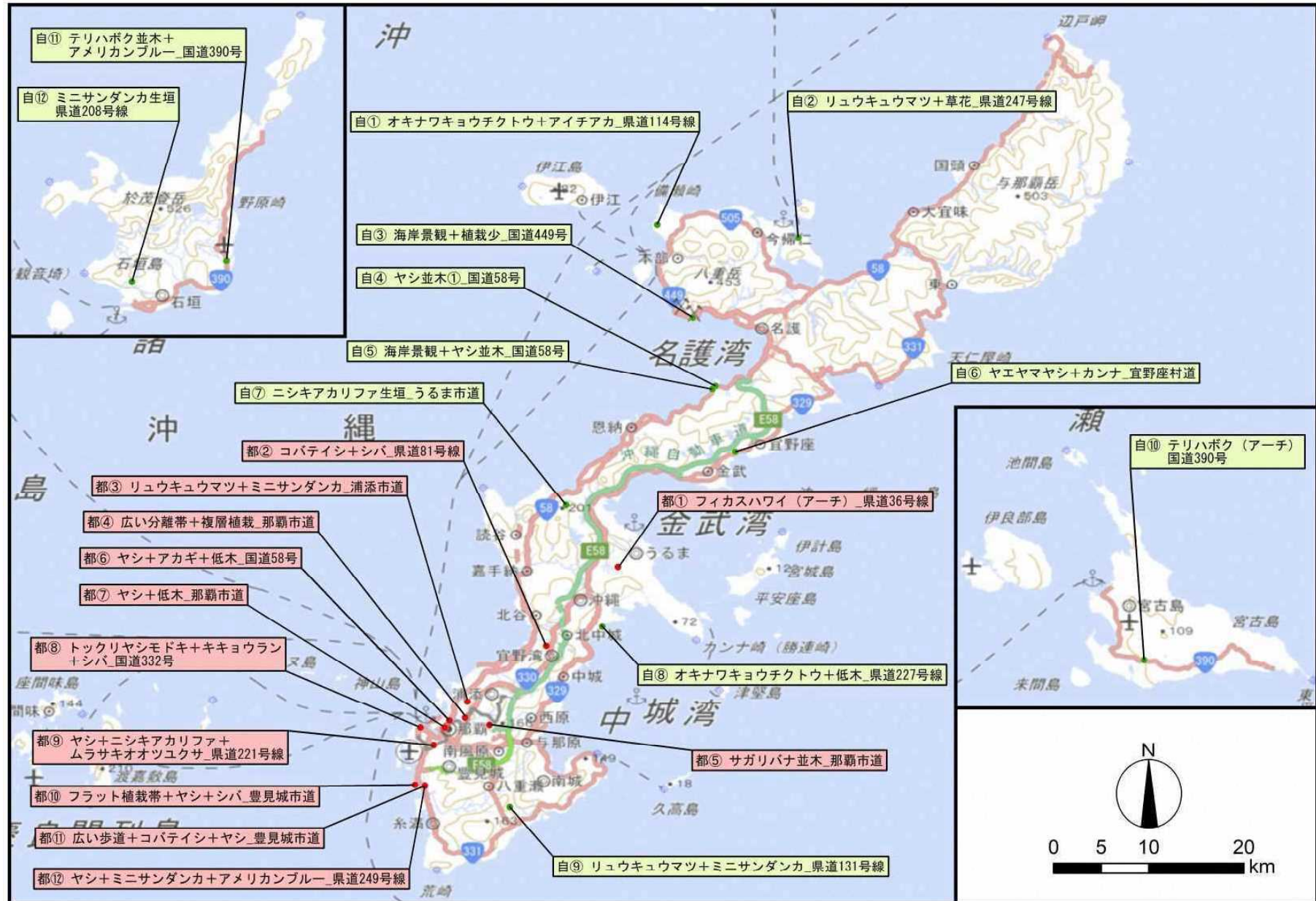
➡本資料では、事前説明における有識者委員の意見を踏まえ、県内における良好な事例を示すとともに、管理区分を設定し、沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい沿道景観形成の考え方（案）について示す。

3. 県内における良好な沿道景観の事例

「良好な沿道景観の事例を収集してはどうか」との意見を踏まえて、県内の国道、県道及び市町村道における良好な沿道景観と思われる事例を以下の表に示す。

ゾーニング (沿道タイプ)	No.	地域	路線	植栽概要	特性	
I 都市地域	(1)市街地 (2)住宅地	①	中部	県道36号線	フィカスハワイ (アーチ)	街路樹がアーチ状に管理
		②	中部	県道宜野湾北中城線	コバテイシ+シバ	シバ管理が行き届いている
		③	中部	浦添市道	リュウキュウマツ+ミニサンダンカ	生垣の美しい刈込み、カラーリーフを活用
		④	南部	那覇市道	広い分離帯+複層植栽	高木と低木の組合せによる複層植栽、一部人工芝使用
		⑤	南部	那覇市道	サガリバナ並木	ボランティアによる管理が行き届いている、開花時期の夏にはライトアップされている
		⑥	南部	国道58号	ヤシ+アカギ+低木	歩道と分離帯に異なる植栽、管理が行き届いている
		⑦	南部	那覇市道	ヤシ+低木	店舗の協力もあり、落葉等の清掃が行き届いている
		⑧	南部	国道332号	トックリヤシモドキ+キキョウラン+シバ	キキョウランを用いた雑草管理、シバ管理が行き届いている
		⑨	南部	県道那覇内環状線	ヤシ+ニシキアカリファ+ムラサキオオツユクサ	モノレールの高さと同レベルの植栽であり、カラーリーフを活用
		⑩	南部	県道東風平豊見城線	フラット植栽帯+ヤシ+シバ	シバ管理が行き届いている
		⑪	南部	豊見城市道	広い歩道+コバテイシ+ヤシ	歩道幅員が広々とし、街路樹がのびのびとしている
		⑫	南部	豊見城市道	ヤシ+ミニサンダンカ+アメリカンブルー	ヤシ並木、剪定・雑草管理が行き届いている、アメリカンブルーによる雑草抑制
II 自然地域	(1)農村 田園 (2)山林 (3)海岸	①	北部	県道114号線	オキナワキョウチクトウ+アイチアカ	カラーリーフを活用、給水プランターを使用し管理の効率化
		②	北部	県道古宇利屋我地線	リュウキュウマツ+草花	リュウキュウマツ並木、植栽柵のスペースに草花植栽
		③	北部	国道449号	海岸景観+植栽少	植栽間隔が広いことから、海の眺望が良好
		④	北部	国道58号	ヤシ並木	ヤシ並木、企業ボランティアによる管理
		⑤	北部	国道58号	海岸景観+ヤシ並木	ヤシ並木
		⑥	北部	宜野座村道	ヤエヤマヤシ+カンナ	ヤシ並木とカンナ植栽、雑草抑制でチップ使用
		⑦	中部	うるま市道	ニシキアカリファ生垣	カラーリーフを活用、管理が行き届いている
		⑧	中部	沖縄県総合運動公園線	オキナワキョウチクトウ+低木	オキナワキョウチクトウ並木
		⑨	南部	県道131号線	リュウキュウマツ+ミニサンダンカ	農村集落の区間のみ植栽柵にミニサンダンカ植栽
		⑩	宮古	国道390号	テリハボク (アーチ)	街路樹がアーチ状に管理
		⑪	八重山	国道390号	テリハボク並木+アメリカンブルー	短い植栽間隔で並木を形成し、アメリカンブルーにより雑草抑制
		⑫	八重山	県道石垣浅田線	ミニサンダンカ生垣	高木が無いことから眺望景観が良好

良好な沿道景観の位置図



良好な沿道景観事例【都市地域】

<p>都① 中部 フィカスハイノアーチ (県道36号線) うるま市</p>	<p>都② 中部 コバテイシ+シバ (県道宜野湾北中城線) 宜野湾市</p>
	
<p>都③ 中部 リュウキュウマツ+ミニサンダンカ (浦添市道) 浦添市</p>	<p>都④ 南部 広い分離帯+複層植栽 (那覇市道) 那覇市</p>
	

良好な沿道景観事例【都市地域】

都⑤ 南部 サガリバナ並木（那覇市道） 那覇市



都⑥ 南部 ヤシ+アカギ+低木（国道58号） 那覇市



都⑦ 南部 ヤシ+低木（那覇市道） 那覇市



都⑧ 南部 トックリヤシモドキ+キキョウラン+シバ（国道332号） 那覇市



良好な沿道景観事例【都市地域】

<p>都⑨ 南部 ヤシ+ニシキアカリファ+ムラサキオオツユクサ (県道那覇内環状線) 那覇市</p>	<p>都⑩ 南部 フラット植栽+ヤシ+シバ (豊見城市道) 豊見城市</p>
	
<p>都⑪ 南部 広い歩道+コバテイシ+ヤシ (豊見城市道) 豊見城市</p>	<p>都⑫ 南部 ヤシ+ミニサندانカ+アメリカンブルー (県道東風平豊見城線) 豊見城市</p>
	

良好な沿道景観事例【自然地域】

<p>自① 北部 オキナワキョウチクトウ+アイチアカ (県道114号線) 本部町</p>	<p>自② 北部 リュウキュウマツ+草花 (県道古宇利屋我地線) 名護市</p>
	
<p>自③ 北部 海岸景観+植栽少 (国道449号) 名護市</p>	<p>自④ 北部 ヤシ並木 (国道58号) 名護市</p>
	

良好な沿道景観事例【自然地域】

自⑤ 北部 海岸景観+ヤシ並木 (国道58号) 名護市



自⑥ 北部 ヤエヤマヤシ+カンナ (宜野座村道) 宜野座村



自⑦ 中部 ニシキアカリファ生垣 (うるま市道) うるま市



自⑧ 中部 オキナワキョウチクトウ+低木 (沖縄県総合運動公園線) 沖縄市



良好な沿道景観事例【自然地域】

自⑨ 南部 リュウキュウマツ+ミニサンダンカ（県道131号線）八重瀬町



自⑩ 宮古 テリハボクノアーチ（国道390号）宮古島市



自⑪ 八重山 テリハボク並木+アメリカンブルー（国道390号）石垣市



自⑫ 八重山 ミニサンダンカ生垣（県道石垣浅田線）石垣市

